

日時 2015 年 3 月 27 日 (金) 12:30 ~ 13:20

場所 岡山大学 津島キャンパス 教養 E 棟 2F E21
(岡山市北区津島中 1 丁目 1 番 1 号)

糖質と健康

—糖尿病予備軍から高齢者まで—

●座長

岡山県立大学 学長 辻 英明 先生

●講師

倉敷スイートホスピタル 院長

松木 道裕 先生

「2 型糖尿病の発症・進展を抑えるためには、

生活習慣への介入が重要である」

2 型糖尿病患者数は増加の一途をたどり、2012 年には 950 万人を超え、肥満者の増加がその要因の 1 つと考えられている。特に内臓型肥満はインスリン抵抗性を助長し、糖尿病や心血管疾患を発症する。糖尿病予備軍の時期から生活習慣へ介入することで糖尿病の発症は抑制される。また、糖質摂取量の制限は血糖の改善や体重の減量に有効であるとす報告が散見されるが、日本人での臨床データはなく、新たなエビデンスが待たれる。

●講師

株式会社林原 研究開発本部 応用研究部 食品・ヘルスケア素材課 研究員
新井 紀恵

「トレハロースによる糖尿病リスクの低減

— 美味しく健康的な食生活の提案 —」

我が国では、メタボリックシンドロームや糖尿病等の生活習慣病が増加しており、美味しく健康的な食生活が望まれている。トレハロースは澱粉の老化抑制や矯味・矯臭の効果があり、食品に広く利用されている。最近、我々は肥満傾向のヒトに毎食時 3.3 g のトレハロースを 12 週間摂取させ、耐糖能が有意に改善することを見出した。本セミナーでは、この興味深い知見を中心に、トレハロースの「美味しさと健康」に関わる最新のトピックスを紹介する。

◆お弁当◆

トレハロース配合の
オリジナル弁当とお菓子を
ご用意しています